

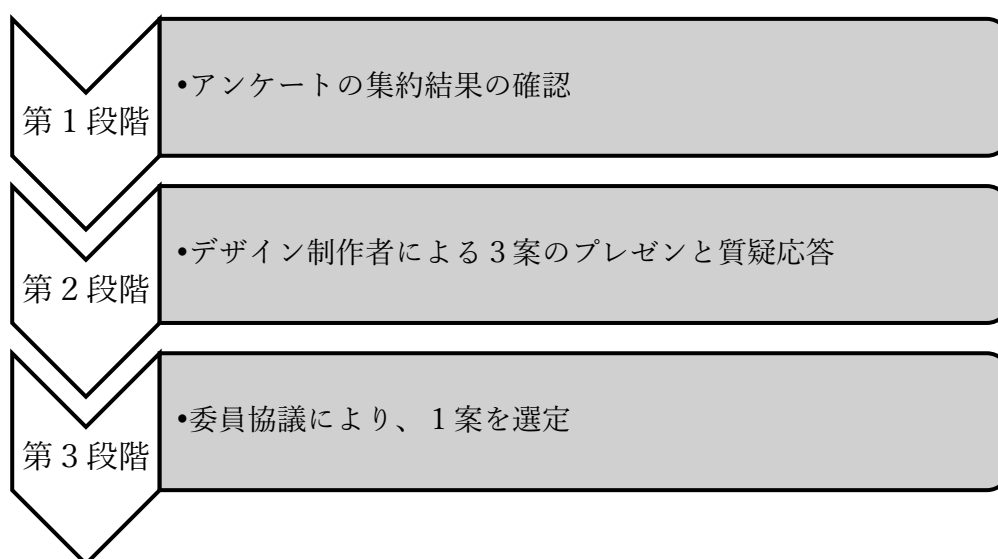
校章デザインの最終選考

1. 校章の選定方針

アンケート調査結果と、デザイン制作者によるデザイン 3 案のプレゼンテーションをもとに委員による協議で最終案を選定する。

最終選考で選ばれたデザイン案を校章案とし、デザイン制作者による最終調整のうえ、校章とする。

2. 最終選考の流れ



3. 校章の決定

最終選考で選定された 1 案（校章案）をもとに、デザイン制作者による最終調整を行い、教育委員会に報告し、校章の決定とします。

4. アンケート概要

調査期間：令和7年5月27日（火）～6月20日（金）

調査方法：WEBアンケートフォーム、アンケート回答用紙

回答者：266名

[回答者内訳]

WEB	児童生徒、教職員	68人	187人
	一般（居住者）	84人	
	その他	35人	
紙	児童生徒、教職員	4人	79人
	一般（居住者）	43人	
	その他	5人	
	小学生低学年	27人	
			266人

5. アンケート結果

(1) 全体傾向

デザインAが最も点数を獲得し、好意的な順位選択も最多。

デザインBは僅差でAに迫る支持を得ており、安定した評価。

デザインCは票数・順位選択ともにやや少なめで、支持は限定的。

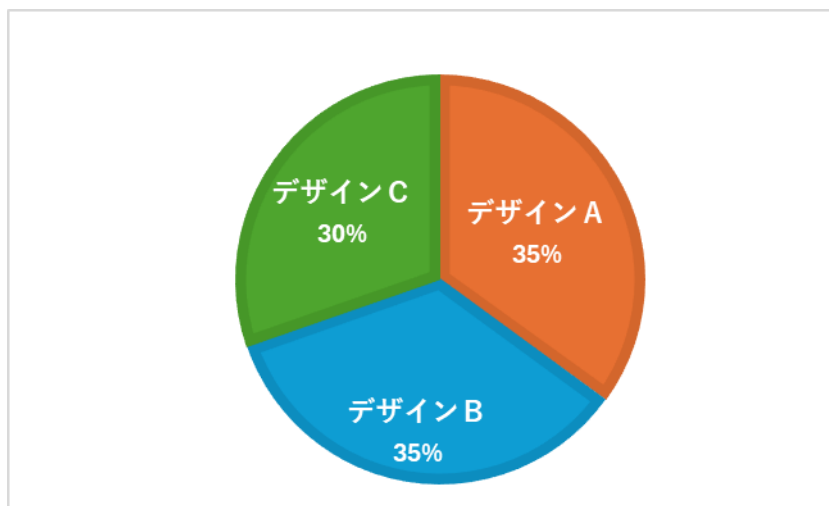
(2) 属性別傾向

児童生徒、教職員はデザインBを、一般（居住者）とその他はデザインAを支持する傾向がみられるが、いずれの属性でも極端にA・Bが偏った支持とはなっていない。

[参考]

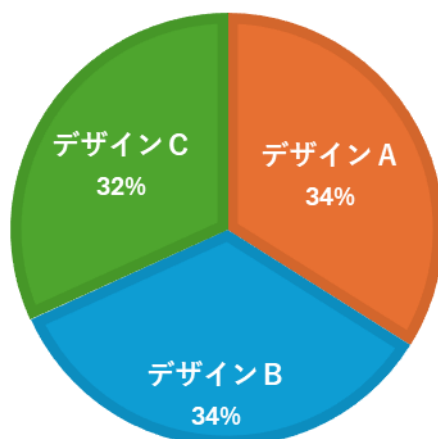
■ 総合評価

全 体

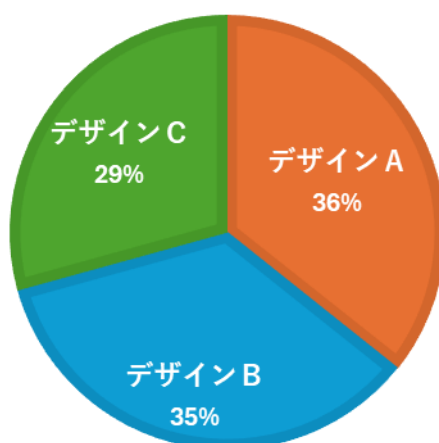


属性別

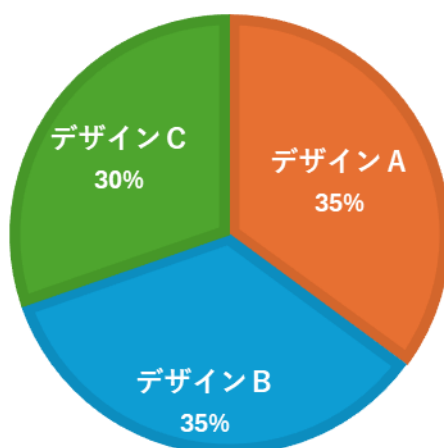
児童生徒、教職員



一般（居住者）

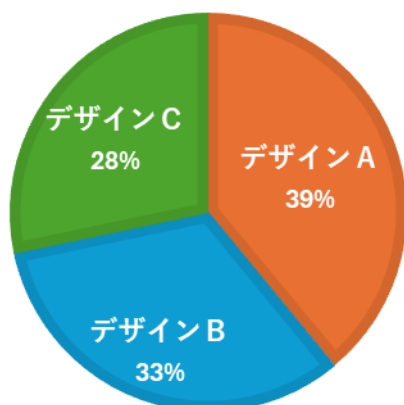


その他

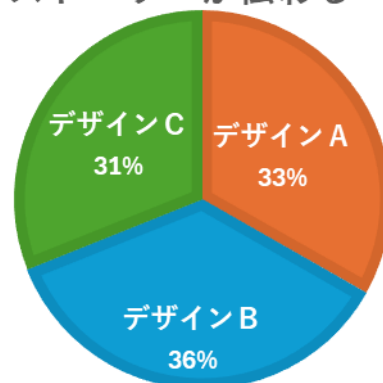


■項目別評価

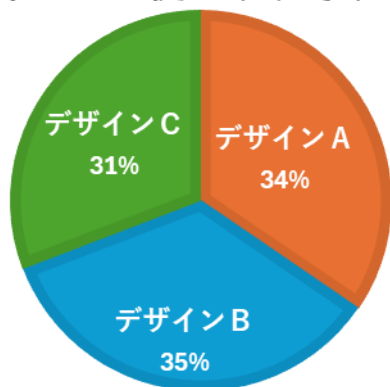
桜島らしさや、コンセプトを感じる



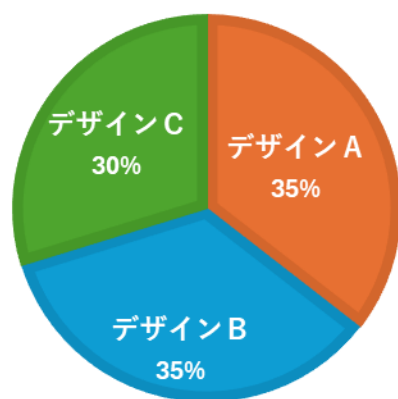
8 つが 1 つになる「桜島学校」のストーリーが伝わる



校章として使いやすそう



校章として 50 年度にも親しみを持てそう



(3) 意見・感想の傾向

デザイン A

好意的：「桜島らしさ」「山と海」「伝統の継承」など地域性を評価する声が多い。

否定的：「古臭い」「既存校章に似ている」「ごちゃごちゃしている」など、デザインの新鮮さに欠けるとの指摘。

デザイン B

好意的：「シンプル」「柔らかい」「8 つの学校が 1 つになる」など統合の象徴として評価。

否定的：「桜島らしさが弱い」「ポンデリングに見える」「校章らしくない」など、象徴性の弱さを指摘。

デザイン C

好意的：「溶岩モチーフ」「斬新」「カッコいい」など新しさと未来感を評価。

否定的：「企業ロゴのよう」「桜島らしがない」「冷たい印象」など、親しみやすさや地域性に欠けるとの声。